

あいぶらんど 通信

2011年
10月17日(月)
NO. 26
あいぶらんど運動
推進委員会発行

Wa!わぁ祭り開催! あいぶらんどコーナーへどうぞ

10月30日(日) 御町サンフェスタにて行われる Wa!わぁ祭りもいよいよ1週間足らずとなりました。ここで、皆さんに、あいぶらんどコーナーでの楽しい企画をご紹介します。3. 11の大震災直後のエピソードとして、サバイバルご飯を募集したところ、200通近くもの応募がありました。その中から多く聞かれたメニューを実際に紹介し再現してみます。震災の記憶を記録として残す重要なご意見をデータでまとめさせて頂きましたので、じっくりご覧ください。

また、あいぶらんどのお米にスポットをあてて紹介しています。今年度からネオニコチノイド系農薬を使わないお米作りに挑戦しています。生態系を脅かす神経毒でもあるネオニコチノイド系農薬は、みつばちがいなくなってしまうという現実がありました。これを排除しようと取組んだ結果カメムシが生きられる田んぼに戻ったということです。カメムシはお米が実る直前の柔らかいところを狙ってチュッと吸ってしまいます。これが、斑点米です。

そこで、色選別機械で、振り分けられる前のお米を準備いたします。1升(1.5キロ)あたり何粒の斑点米が入っているでしょうか? どうぞ皆さんで考えて頂き、投票してみてください。お祭り開始の10時から13時まで受け付け致します。13時10分からステージにおいて実際何粒入っていたかを、ステージにおいて子供達に数えてもらう「斑点米数えてみようコンテスト」結果発表もありますので、ステージ前にお集まり下さい。なんと、ピタリ賞として、あいぶらんど商品詰め合わせ1万円分が景品となりますので、是非挑戦してみてください。多くの皆様の投票を御願い致します。その他にニアピン賞も準備していますので、楽しみに参加下さい。親子で環境を考える絶好のチャンスとなります。そして、ますます安全・安心なあいぶらんどのお米が好きになること間違いなしです。

あいぶらんど運動推進委員会担当理事

高橋 千佳



「斑点米数えてみようコンテスト」が開催されます。

投票 10:00~13:00 (あいぶらんどブースにて)

~13:10分頃から会場ステージにお集まり下さい~

ピタリ賞・・・あいぶらんど
商品詰め合わせ1万円分
ニアピン賞・・・あいぶらんど
のお米5キロ
当てよう!



※ 斑点米を数えてみたい小学生のお友達はステージ前に集まってね!
5人のお友達にお手伝いしてもらいます。

職員コラム

震災後、『あいぶらんど』が我が家にも届き、食べられる様になった事に感動したのを覚えています。(今もですが)余震が続き不安を感じる中でいつもの『あいごはん』が我が家のテーブルに並んで、『普段』を感じられた事にとっても安心したし、『あいぶらんど』がまた食べられる様になった事に復興(前進)を感じました。生産者さんがご自宅も会社も被災されている中、(組合員さんも含めて)私達の為にご努力をいただいた事に感謝×2でした。

事業部 高橋 正人





サバイバルご飯 アンケートから見たもの 備蓄品は 米・味噌・缶詰・乾物



あいぶらんど委員会では「震災後、何を食べましたか？」のアンケートを行ってきました。ご協力、ありがとうございました。

頂いたたくさんの回答をまとめた結果、いろんなことが見えてきました。

組合員さんによっては、自分でご飯を作れるような状況になかった人もありましたが、「生協」として、この時を記録することには大切な意味があります。

自分たちの日頃の生活を考え直す、未来の子供たちの為に自分たちが守らなければならないものは何か。

寄せていただいた回答のすべては、Wa！わぁ祭りでの掲示を予定しています。お祭りは10月30日、卸町サンフェスタで行われます。会場には駐車場もありますし、当日はシャトルバスもありますので、お友達を誘って、どうぞ皆さんでおいでください。

表1
あって重宝した食材

缶詰	43
米	41
乾物	37
味噌	29

また、表2にある、「欲しかった食品」が、手に入らなかった訳を考えると、生産現場での停電、輸送のガソリン不足。家畜の餌の輸入のストップなど、今まで、地産地消を呼びかける時に訴えていたきた「災害で輸入がストップしたら、私たちの食料は4日で枯渇する」現実を見た思いです。

回答より

被災前、非常食といったら「乾パン」「アルファ米」でした。が、実際食べたものは左の表1にあるように、特別な「～用」ではなく、日頃家にある物でした。しかし、これらはポータブルガス台や反射型ストーブなどの火の元がある場合に限りませんが、中には、「薪を拾ってきて火をおこした」組合員もいました。

表2
欲しかった食材

肉・魚・ウィンナーなど	53
野菜	41
牛乳	37
卵	33
豆腐・納豆	15:

このほか、自由筆記の部分には、当時の状況がよく分かるいろんな記述があります。そこから見たものには、週に一度の配送で生活をしていることで得た、食材を保存するための知恵や、残った物の活かし方などもありました。

毎年少しずつ残る梅干も、今年は食べきった。また、停電の為に冷蔵保存が危うくなり、無駄にしないために食卓に載せた結果、「いつもよりいい食事」だった家庭や、「冷凍庫は封印」して、冷蔵庫のものをきれいさっぱり始末できたとのお話。また、かなり前の塊のハムも、周りを削いだら食べることができたなど、まさにサバイバルな報告もありました。

今まで、ご馳走とは特別意識しないまま、知らず知らず贅沢になりつつあった私たちの食生活を、この機にしっかり見つめなおし、地元のものをしっかり食べていくことの意味、そのために解決すべきエネルギーも含む環境問題をしっかり見据え、これからも活動をしていきましょう。

活躍した
あいぶらんど
たち



ササニシキ



ひとめぼれ



まいらぶ米



仙台みそ 米こうじみそ

Wa！わぁ祭り（10/30開催）へのアクセス
 ・車・・・仙台市若林区卸町 2-15-2 仙台卸商センターサンフェスタ
 ・バス・・・市営バス（仙台駅 04 番発） ¥240
 志波町・卸売市場経由東部工業団地行き「卸町会館」下車
 ・シャトルバス・・・祭り会場シャトルバス（仙台駅東口発） ¥100
 詳しくはWa！わぁまつりのお便りをご覧ください。